

豊水っ子だより

笑顔! いい声! いい心! いっぱいの学校

第9号

令和元年12月25日
豊水小学校

お世話になりました! 地域の方々との合同花植え!

11月29日(金)、まちづくり委員会の土田さん、小野尻東区長の田畑さんをはじめ、小野尻地区の豊寿会の方々10名にお世話をいただき、秋の花苗植えを行いました。6年生12名はプール横花壇を、5年生11名は学校正門東花壇を担当し、豊寿会の方々に花苗植えのコツなどアドバイスをいただきながら、約20分間の作業をがんばりました。ストック、葉ボタン、ノースポール、アリッサム、リビングストーンデージー・・・さまざまな秋の花が豊水小学校を包んでいます。人は環境をつくり、環境は人をつくれます。豊水小の伝統「花いっぱいの学校づくり」を地域の方々と共にこれからも進めていきたいと思ひます。お忙しい中、ありがとうございました。



★あいさつを地域全体に広げよう! 小中合同挨拶運動



12月13日(金)今年度2回目の小中合同挨拶運動を行いました。有明中の生徒7名が二ヶ所に分かれ、小学生と共に明るく元気な挨拶の声を響かせてくれました。豊水小出身という親しみもありますが、中学生らしい堂々とした姿は小学生の憧れでもあります。小中学校の子どもたちが自主的に活動することで挨拶運動を校区全体に広げていければと思います。

★力強い地域の方々の大声援! 校内持久走大会!

12月13日(金)2校時、雲一つないすばらしい天候の中、校内持久走大会を行いました。1・2年生は約1Km、3・4年生は約1.5Km、5・6年生は約2Kmを走りました。子どもたちはそれぞれ目標を立て、一秒でも速いタイムが出るように体育の時間をはじめ、始業前の朝マラソンなどに積極的に取り組んできました。本番ではほとんどの子どもたちが自己新記録を出し、その努力の成果を発揮することができました。沿道からのたくさんの温かいご声援や励ましの声も子どもたちの自己新記録を後押ししていただいたものと思ひます。たくさんのご声援、本当にありがとうございました。持久走は体も心も鍛えられる運動です。部屋の中に閉じこもりがちな冬休みは、ぜひ自主的に体を動かされてみてはいかがでしょうか。★花の苗植え、挨拶運動、校内持久走の応援など地域に支えられている豊水小学校です。



なかよし集会で、人権の和を広げよう!!

自分の大切さと共に、他の人の大切さを認め、互いに支え合い励まし合える集団づくりを目的とした校内人権集会「なかよし集会」を12月6日(金)に行いました。各学年人権学習で学んだこと、豊水小のみんなに伝えたいこと、学級のなかまづくりの取組などを各学年で発表し合い、人権や身の回りの差別、「ともだち」や「なかま」についてあらためて考える場となりました。それぞれの発表に対し、子どもたちからは「いじめや差別はぜったいにしません」「人が傷つくようなことをしません」などの返しの感想もたくさん発表されました。ところで人権学習の後の子どもたちの感想からは必ずそのような感想が聞かれます。いじめや差別を肯定する感想はもちろん聞いたことがありません。大切なことは実際の行動がその感想とつながっているかだと思います。そしてよりよい人間関係づくりとは、いかに相手の立場に立って、気持ちに寄り添うことができるかどうかという、いわゆる「共感力」だと思います。これは本校で児童に身につけさせたい資質・能力の一つです。豊水小の子どもたちは素直で思いやりのある子どもたちばかりです。人権学習を積み重ね、自分たちの生活と重ねながら、さらに人権あふれる豊水小学校を目指しています。



★スマホ・SNSの適切な活用を～文化講演会～

12月13日(金)本校会議室にて学校・PTA主催による文化講演会を開催しました。県立教育センター指導主事、森田雄治先生をお招きし「子どもたちの携帯電話・スマートフォン等の安全利用について」という演題で約50分間のお話をいただきました。現代社会において携帯電話・スマホはなくてはならない必需品であることは言うまでもありませんが、それらを「使わせない」指導ではなく、「正しく使わせる」指導が必要であることをまず話されました。さらにスマホアプリにそれぞれ年齢制限があること、メールで使われている特別な読み方をする言葉があること、メールの文章は違う意味で受け止められる場合があること・・・など新しい知識を数多く得ることができましたが、同時に自分自身がスマホに関して時代に流れに乗り遅れていることを痛感しました。講演のまとめに保護者をお願いしたいこととして、1. ルールを作ること、2. フィルタリングをかけること、3. 大人が模範となる行動をすること、の3点を、さらにルールづくりについては、①具体的に、②保護者と子どもが話し合って、③定期的に見直す、という3つのポイントを説明されました。今後、SNSを通じた犯罪等に子どもたちが巻き込まれないよう、学校・保護者・地域で連携し合い、取り組んでいければと思います。



